

盛岡五山の一つ、永福寺



盛岡五山の筆頭が下米内にある、永福寺である。山号は宝珠盛岡山。坂上田村麻呂が建立した十一面観音堂にその起源を持つ。南部氏の時代になってからは南部家の祈願寺として篤く信仰された。盛岡の地に城下町を建設の際、盛岡城から見て丑寅（北東）の方向が鬼門であり、陰陽道では悪鬼・悪霊・災禍が出入する場所とされているため、元和3年（1617）鬼門鎮護のため永福寺を建立した。寺領800石、約3万坪の境内に歓喜院・護摩堂・六供坊・六ヶ寺を擁した立派なものであったが、明治の神仏分離、廃仏毀釈により廃寺となった。現在の永福寺はかつて東坊があったところに昭和22年（1947）本堂を再建したものである。

盛岡という地名の起こりとされる連歌の額も江戸時代より伝えられる。
 (もりけん本スーパerver.2より)